

令和元年度通常総会

日 時 令和元年5月17日（金）午後2時30分
会 場 サンロイヤルホテル （エトワール：1F）

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

総 会 次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 成立宣言
- 5 議長選出
- 6 議 事
 - (1) 議事録署名人選出
 - (2) 議 案
平成30年度事業報告及び決算の承認について
(監 査 報 告)
 - (3) 報告事項
令和元年度事業計画及び収支予算について
- 7 その他
- 8 閉 会

(休 憩)

◇ 講演会

講演：プロスポーツと地域活性化

講師：鹿児島ユナイテッドFC 代表取締役 徳重 剛 氏

鹿児島レブナイズ 代表取締役社長 小牧 正英 氏

◇ プレゼンテーション

(株)薩摩太良院：地元農産物活用のおいしいお菓子の開発

かねだい食品(株)：地域資源を活用した新特産品開発

クルーシャル・クーリング・パフォーマンス(株)：鹿大発の大型照明を世界に!!

鹿児島県知財総合支援窓口：知的財産に関する無料相談窓口

◇ 交流パーティー

(太陽の間：2F)

議案 平成30年度事業報告及び決算の承認について

〔事業報告〕

鹿児島県工業倶楽部は、社団法人から公益社団法人に移行したことに伴い、これまでの会員を対象とした活動から、非会員企業も含め、広く県内工業の発展を図るための活動が求められている。

平成30年度も、これまでの異業種交流に加え、知的財産権について中小企業等が企業経営の中で抱える悩みや課題を一元的に受け付け、知財専門家や県内中小企業支援機関と協働して解決に導く、国の「知財総合支援窓口運營業務」に取り組んだ。

これらの取り組みにより、会員企業の事業活動の拡充を支援し、会員相互の一層の交流促進を図るとともに、公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含めて、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財) かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内工業の発展や地域の振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開したところである。

また、昨年度に引き続き、鹿児島大学稲盛会館で「第八回食と健康に関するシンポジウム」を開催するとともに、逆ラボツアーや工農連携（オランダに学ぶ）研究会による現地視察等を開催し、また、鹿児島大学や鹿児島工業高等専門学校が主催する産学官連携コーディネーター会議等へ参加するとともに、新たに「若手経営者プラザ」を設立するなど、活動の活性化を図ったところである。

その他、ベンチャープラザ鹿児島二水会の開催や工業倶楽部の各プラザ、部会の活動促進のための支援や、会報の発行等により会員企業への情報提供などに努めた。

〔主要事業〕

1 理事会

- (1) 平成29年度決算に係る監事の監査(4/23)
- (2) 第1回正副会長会及び理事会を開催(4/27)
 - ① 平成29年度事業報告及び決算案承認(総会へ提出)
 - ② 役員改選案の承認(総会へ提出)
 - ③ 入会の承認
- (3) 第2回理事会を開催(5/21)

- ① 会長・副会長を選任
会長 岩元 正孝
副会長 弓場 秋信、本村 嘉啓、横山 勝一、門 久義
- (4) 正副会長会及び第3回理事会を開催(10/1)
年度後半の事業活動等について協議
 - ① 新プラザの設立について
 - ② 入会の承認について
 - ③ 地場産業への活力支援プロジェクトについて
 - ④ 平成31年新年大会について
 - ⑤ 食と健康に関するシンポジウムについて
 - ⑥ 職務執行状況報告
 - ⑦ その他

懇談会(県議会産業経済委員会、県と懇談)

- (5) 正副会長会及び第4回理事会を開催(3/29)
 - ① 入会の承認について
 - ② 30周年記念事業について
 - ③ 平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ④ 職務執行状況報告
 - ⑤ その他(平成31年度総会等について)

2 総会(5/21) 城山ホテル鹿児島 【参加者】 104名

- ① 平成29年度事業報告及び決算の承認
- ② 役員改選の承認
- ③ 平成30年度事業計画及び収支予算の報告
- ④ 講演会
演題 「人間大好き!楽しい仕事!」
講師 KTS タレント タマリ 氏
- ⑤ プレゼンテーション
 - ・ 小林 領太 氏 : 鹿児島大学工業倶楽部賞受賞記念(理工学研究科物理・宇宙専攻)
 - ・ (株)仙夢 : 畳とシリカの商品群
 - ・ 富士ゼロックス鹿児島(株): GPS とスマートフォンを連携した地域活性化ツール!
 - ・ 貫見 菜月 氏 : 地産地消から地産外消のシステムづくり,世界を目指して!
- ⑥ 交流パーティー

3 第八回食と健康に関するシンポジウム 【参加者】223名

【日時】11月28日（水） 14:00～17:40

【会場】鹿児島大学稲盛会館キミ&ケサメモリアルホール

（シンポジウム概要）

世界に広がる「かごしまの食」

◎高付加価値の県畜産物を開発する！～企業・自治体・研究機関・大学による「医福食農連携」地域戦略プロジェクト～

講演者：鹿児島大学農学部教授 侯 徳興 氏

◎独自の技術で県産ブリを世界の「HAMACHI（ハマチ）」へ

講演者：グローバル・オーシャン・ワークス株式会社

代表取締役 増永 勇治 氏

◎老舗のさつま揚げ～輸出開始から43年。インドネシア現地生産も6年目～

講演者：(株)有村屋代表取締役有村 興一 氏

◎安全・美味しい有機栽培茶をEUへ～規制のクリアと新たな展開～

講演者：(株)下堂園代表取締役副社長 下堂 蘭 元 氏

◎輸出の免許 HACCP etc～企業向け食品管理者養成コースを開講～

講演者：鹿児島大学農学部 准教授 紙谷 喜則 氏

◎パネルディスカッション

「海外進出を成功させる基本の知識と経営戦略」

4 平成31年工業倶楽部新年大会 【参加者】98名

【日時】平成31年1月25日（金） 15:00～19:30

【会場】城山ホテル鹿児島 エメラルド

① 講演①

「鹿児島らしさを活かした未来への挑戦～持続可能な成長に向けて～」

講師：九州経済産業局長 塩田 康一 氏

② 講演②

「鹿児島産ロケットで宇宙を目指す！」

講師：鹿児島大学理工学研究科教授 片野田 洋 氏

③ プレゼンテーション

- ・ 門 久義 氏（鹿児島大学名誉教授）：「地場企業への活力支援プロジェクト」のお知らせ
- ・ (株)タナカサトル技術支援：つながる、みる、のびる
- ・ (株)ドクターナチュレ：地域産物、特色を活かした基礎化粧品づくり
- ・ NPO 法人マンガプロジェクト鹿児島：マンガ広告で企業の魅力UP！に挑戦

5 知財総合支援窓口の目標値と実績

30年度鹿児島県知財総合支援窓口の支援件数

単位：件 %

支援項目 計画と実績		相談支援件数 合計 A	専門家活用 支援件数 (Aの内数)	新規相談件 数 (Aの内数)	普及啓発の訪 問企業数	臨時窓口開設 (県工業技術センター等)	
						本土	離島
年間計画	件	1, 631	301	393	493	36回	12回
実績	件	1, 914	420	351	505	73回	13回
達成率	%	117.35	139.53	89.31	102.43	202.78	108.33

6 ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

(1) 第73回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」 【参加者】113名

■ 日時 平成30年5月9日(水) 15:00~19:00

■ 会場 ジェイドガーデンパレス 4階 飛翔

■ 内容

◆ 第I部 ビジネスプラン発表

① 株式会社KAGO食スポーツ(鹿児島市)

公認スポーツ栄養士によるアスリートサポート事業「アスリート健診(自己採血キットを用いて自宅で採血ができるアスリート向けの血液検査事業)」の販路拡大

② 大協株式会社(鹿児島市)

ろ過材に天然鉱石を使用し、処理能力とランニングコストに優れたコンパクトなるろ過装置・浄水器の販路拡大

③ 株式会社竹之内組(垂水市)

垂水市産赤エビを使用した「とんこ海老のスープ」など地元農水産物を活用した加工食品の販路拡大

◆ 第II部 交流会(情報交換・名刺交換等)

(2) 第74回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」 【参加者】117名

■ 日時 平成30年11月14日(水) 15:00~19:00

■ 会場 ジェイドガーデンパレス 4階 飛翔

■ 内容

◆ 第I部 ビジネスプラン発表

① キリシマ精工株式会社【霧島市】

患者と歯科医双方の負担軽減を実現した次世代歯列矯正器具「EGG BRACKETS(エッグブラケット)」の販路拡大

② 株式会社Climbest(クラインベスト)【鹿児島市】

「伝わる外国語」で外国人顧客の心を驚掴み!!鹿児島翻訳会社

による質の高い翻訳サービスの販路拡大

③ セイカ食品株式会社【鹿児島市】

こなみずきでん粉（甘藷でん粉）を使用した同社初のグミ商品「ぱりぷにゅ」の販路拡大

◆ 第Ⅱ部 交流会（情報交換・名刺交換等）

（３）第７５回ベンチャープラザ鹿児島二水会 【参加者】１０４名

■ 日 時 平成３１年２月１３日（水） １５：００～１９：００

■ 会 場 ジェイドガーデンパレス ４階 飛翔

■ 内 容

◆ 第Ⅰ部 ビジネスプラン発表

① 株式会社オーケー社鹿児島【鹿児島市】

製造現場における不良品発生低減等に貢献する静電気放電位置可視化装置「ステルススナイパー」の販路拡大

② 株式会社ボタニカルファクトリー【南大隅町】

地域の植生を活かした化学薬品不使用の地産コスメ「BOTANICANON（ボタニカノン）」の販路拡大

③ 株式会社リリー【鹿児島市】

受注機会の逸失防止や顧客対応品質の向上につながる着信電話自動受付システム「CALLBACK. WORKS」の販路拡大

◆ 第Ⅱ部 交流会（情報交換・名刺交換等）

７ プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会を開催し、講演、情報交換、視察、研究などを実施。

プラザ、部会、地区プラザ等それぞれの計画に従って随時開催

（実績：別紙）

８ 会報の発行（所管：総務・広報委員会）

① Ｎｏ．６２号（２０１８年６月）

（夏季号：通常総会、講演会、若手経営者・後継者紹介、新会員情報等）

② Ｎｏ．６３号（２０１９年２月）

（新年大会号：新年大会講演、会員活動状況、若手経営者・後継者紹介、新会員情報等）

９ その他

（１）委員会活動

（実績：別紙）

10 その他関連事業

(1) インターンシップ

- ① インターンシップ受入（7月30日（月）～8月1日（水））

薩南工業高校：（株）丸和工業

(2) かごしまデザインフェア（2月22日（金）～24日（日））

県民交流センターで開催

(3) 鹿児島大学卒業式で鹿児島県工業倶楽部賞授与（3月25日（月））

増満勇人 氏（理工学研究科博士前期課程）

井之上弘樹 氏（農学研究科修士課程）

◇活動実施状況

平成30年 4月 9日	八日会を開催し、情報交換を実施。
16日	食産業部会と84プラザを合同で開催、「食品加工の未来 命あるものを元気にする！」と題し、(株)新生バイオ 代表取締役社長 田村 和男氏が講演。
17日	川薩地区プラザを開催、「30年度の補助金、支援策等について」と題し、かごしま産業支援センター 前田経営支援課長、よろず支援拠点担当者が講演。
20日	プラザいもづるを開催、情報交換を実施。
27日	正副会長会を開催し、平成29年度決算及び平成30年度予算について協議。
〃	理事会を開催し、平成29年度決算及び平成30年度予算について協議。
5月 9日	第73回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催。 第一部は、ビジネスプラン発表 1. 株式会社KAGO食スポーツ（鹿児島市） 公認スポーツ栄養士によるアスリートサポート事業「アスリート健診（自己採血キットを用いて自宅で採血ができるアスリート向けの血液検査事業）」の販路拡大について。 2. 大協株式会社（鹿児島市） ろ過材に天然鉱石を使用し、処理能力とランニングコストに優れたコンパクトなろ過装置・浄水器の販路拡大について。 3. 株式会社竹之内組（垂水市） 垂水市産赤エビを使用した「とんとこ海老のスープ」など地元農水産物を活用した加工食品の販路拡大について。 第二部は、交流会（情報交換・名刺交換等）
18日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
21日	平成30年度通常総会を城山観光ホテル「ロイヤルガーデン」で開催し、平成29年度の事業報告及び、収支決算並びに平成30年度事業計画及び収支予算（案）等について審議を行い承認・可決。 また、「人間大好き！楽しい仕事！」と題し、KTSタレントのタマリ氏が講演。 プレゼンテーションとして鹿児島大学理工学研究科 物理・宇宙専攻の小林領太氏による「鹿児島大学工業倶楽部受賞記念」、(株)仙夢による「量とシリカの商品群」、富士ゼロックス鹿児島(株)による「GPSとスマートフォンを連携した地域活性化ツール!」、(有)南九州きのこセンター 貫見葉月氏による「地産地消から地産外消のシステムづくり、世界を目指して!」等を発表。 第2回理事会を開催し、会長・副会長を選任
6月 6日	八日会を開催し、情報交換を実施。
14日	川薩地区プラザを開催、「鹿児島の水産業と技術課題への取組」と題し、鹿児島大学水産学部准教授 安楽和彦氏が講演。
18日	84プラザを開催、「ロボティクス研究最前線！（クラウド型位置同定インフラストラクチャシステムとIoT への応用）」と題し、鹿児島大学学術研究員 理工学域工学系准教授 高橋淳二氏が講演。
22日	プラザいもづるを開催、「自分の人生に自己申告する「私の人生整理整頓帳」の書き方・考え方」と題し、萩原清秀氏が講演。

7月 9日	八日会を開催し、情報交換を実施。
18日	始良・霧島地区プラザを開催、「伊佐小町の開発 しょちゅガールの挑戦」と題し、大口酒造株式会社 緒方千織氏が講演。
25日	食産業部会・84プラザの合同例会を開催、「健康をサポートする鹿児島県産農産物のチカラ」と題し、講師として鹿児島大学 農学部 加治屋 勝子氏が、が講演。
27日	若手経営者の会を開催。「台湾最新事業」と題し、(株)ランドアート 黒田 幾代氏が講演。
27日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
8月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施。
20日	84プラザを開催。「凍結解凍覚醒法で、糖度25度の神バナナ」と題し、農業法人神バナナ(株) 西園氏が講演。
21日	大隅半島地区プラザを開始し、「九州ニュービジネス大賞優秀賞受賞の省力化機械について」と題し、マトヤ技研工業(株) 代表取締役 益留 福一氏が講演。
29日	川薩地区プラザを開催、「私の人生」と題し、建築家・京都造形芸術大学大学院教授 高崎 正治氏が講演。
9月 7日	八日会を開催し、情報交換を実施。
14日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
18日	貿易部会・食産業部会・84プラザで合同例会を開催、「外国技能実習生の活用」と題し、(株)清友 代表取締役 宮之原 明子氏とマネージャー 坪内 幸子氏が講演。
10月1日	正副会長会を開催し、平成30年度後半の事業活動等について協議。
〃	理事会を開催し、平成30年度後半の事業活動等について協議。
2日	工農連携（オランダに学ぶ）研究会を鹿児島県農業開発総合センターにて開催。同センターの概要、施設園芸や屋外の研究室・試験圃場等の視察後、意見公開を実施。
10日	八日会を開催し、情報交換を実施。
15日	84プラザを開催、「薩摩切子（SHOHO）の世界 ガラスを通して夢と文化を継承」と題し、ガラス職人（薩摩切子） 長谷川 頌峰氏が講演。
19日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
23日	川薩地区プラザを開催、「鹿児島大学の新しい試み～産学・地域共創センターにおける社会実装への挑戦」と題し、鹿児島大学准教授 中武貞文氏が講演。
26日	若手経営者プラザを開催、「痛みに向き合う-私のスピリチュアルペイン-」と題し、臨床宗教師 榊 了慈氏が講演。

11月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施。
14日	第74回ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」を開催。 第一部はビジネスプラン発表を行う。 1. キリシマ精工株式会社【霧島市】 「患者と歯科医双方の負担軽減を実現した次世代歯列矯正器具「EGG BRACKET S (エッグブラケット)」の販路拡大について。 2. 株式会社Climbest (クラインベスト)【鹿児島市】 「伝わる外国語」で外国人顧客の心を驚嘆み！！鹿児島の翻訳会社による質の高い翻訳サービスの販路拡大について。 3. セイカ食品株式会社【鹿児島市】 こなみずきでん粉(甘藷でん粉)を使用した同社初のグミ商品「ぱりぷにゅ」の販路拡大について 第二部は、交流会を実施。
16日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
19日	84プラザを開催、「トウガラシ類の歴史と魅力」と題し、鹿児島大学農学部教授 坂上潤一氏が講演。
22日	逆ラボツアー・大隅半島地区プラザを合同開催し、「大隅の食の加工を中心とする産業への取り組み」と題し、株式会社ナンチク、マトヤ技研工業株式会社を見学。
28日	第八回食と健康に関するシンポジウムを開催 世界に広がる「かごしまの食」のテーマで下記の講演等を実施 ◎高付加価値の県産産物を開発する！～企業・自治体・研究機関・大学による「医福食農連携」地域戦略プロジェクト～ 講演者：鹿児島大学農学部教授 侯徳興氏 ◎独自の技術で県産ブリを世界の「HAMACHI (ハマチ)」へ 講演者：グローバル・オーシャン・ワークス株式会社代表取締役 増永勇治氏 ◎老舗のさつま揚げ～輸出開始から43年。インドネシア現地生産も6年目～ 講演者：(株)有村屋代表取締役有村興一氏 ◎安全・美味な有機栽培茶をEUへ～規制のクリアと新たな展開～ 講演者：(株)下堂園代表取締役副社長 下堂蘭元氏 ◎輸出の免許 HACCP etc～企業向け食品管理者養成コースを開講～ 講演者：鹿児島大学農学部 准教授 紙谷喜則氏 ◎パネルディスカッション 「海外進出を成功させる基本の知識と経営戦略」
12月11日	八日会を開催し、情報交換を実施。
18日	川薩地区プラザを開催し、情報交換を実施。
平成31年 1月 9日	正副会長による新年あいさつ回りを実施。
17日	若手経営者プラザを開催、「企業経営とパブリックマインド」と題し、阿久根市市議会議員 ホテルコンサルタント 白石純一氏が講演。
24日	84プラザを開催、「異文化理解とコミュニケーション」と題し、鹿児島大学法文教育学域法文学系准教授 中島 祥子氏が講演。

25日	新年大会を開催 講演1では、「鹿児島らしさを活かした未来への挑戦～持続可能な成長に向けて～」と題し、九州産業経済局長 塩田 康一氏が講演し、講演2では「鹿児島県産ロケットで宇宙を目指す！」と題し、鹿児島大学理工学研究科教授 片野田 洋氏が講演。 会員4社によるプレゼンテーションを行った。
29日	工農連携（オランダに学ぶ）研究会を開催、講演1では、「オランダスマート農業の現状と先進性」と題し、株式会社エルム代表取締役 宮原 隆和氏が講演し、講演2では「農商工連携事業について」と題し、独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部統括プロジェクトマネージャー 大澤 眞介氏が講演。
2月 4日	84プラザを開催、「南の島における水資源品質戦略的管理手法の社会実装と産官学童団による河川自然再生を通じた島嶼社会の持続・自主的発展の礎づくりの試み」と題し、鹿児島大学南九州・南西諸島域共創機構 産学・地域共創センター連携推進部門 特任准教授 古里 栄一氏が講演。
7日	八日会を開催し、情報交換を実施。
8日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
13日	第75回ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」を開催。 第一部はビジネスプラン発表 1. 株式会社オーケー社鹿児島【鹿児島市】 製造現場における不良品発生の低減等に貢献する静電気放位置可視化装置「ステルススナイパー」の販路拡大について。 2. 株式会社ボタニカルファクトリー【南大隅町】 地域の植生を活かした化学薬品不使用の産地コスメ「BOTANICANON（ボタニカノン）」の販路拡大について。 3. 株式会社リリー【鹿児島市】 受注機会の逸失防止や顧客対応品質の向上につながる着信電話自動受付システム「CALLBACK WORKS」の販路拡大について 第二部は、交流会を実施。
19日	地域資源活用プラザを開催し、地場企業への活力支援プロジェクトについて意見交換
20日	川薩地区プラザを開催し、「プラスチックによる海のごみ問題～マイクロプラスチックから改善事例まで～」と題し、鹿児島大学特任教授 藤枝 繁氏が講演。
22日	出水地区プラザを開催、「微生物の限らない能力を学ぶ」と題し、サンルート(株)社長の渡辺良則氏が講演
〃	かごしまデザインフェア2019を開催。（～24日）
3月 8日	始良・霧島地区プラザを開催、「ワインについて」と題し、シェフの山之内氏が講演。
〃	八日会を開催し、情報交換を実施。
〃	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施。
11日	84プラザを開催し、「くらしの中の旅、これからの旅の魅力」と題し、株式会社アイロード取締役 福永 栄子氏が講演。
25日	鹿児島大学工業倶楽部賞を、鹿児島大学卒業式で授与。

29日	正副会長会を開催し、平成31年度予算案等について協議 理事会を開催し、平成31年度予算案等について協議
-----	---

◇各 種 会 合 等 一 覧 表

月	総会・理事会 正副会長会	委 員 会 等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
4	正副会長会 理事会	事業委員会	プラザいもづる、八日会、川薩地区プラザ、 84プラザ、食産業部会	8
5	通常総会		プラザいもづる、ベンチャープラザ鹿児島「ニ 水会」	3
6		総務・広報委員会 特命委員会	八日会、プラザいもづる、84プラザ、川薩地 区プラザ	6
7		特命委員会	プラザいもづる、八日会、84プラザ、 若手経営者の会、始良・霧島地区プラザ、食産 業部会	7
8			八日会、84プラザ、川薩地区プラザ、大隅半 島地区プラザ	4
9		特命委員会	プラザいもづる、八日会、84プラザ、食産業 部会、貿易部会	6
10	正副会長会 理事会		八日会、プラザいもづる、川薩地区プラザ、県 議会・県商工労働水産部との懇談会、工農連携 研究会、84プラザ、若手経営者プラザ	9
11		渉外委員会 特命委員会	八日会、プラザいもづる、84プラザ、ベンチ ャープラザ鹿児島「ニ水会」、食と健康に関す るシンポジウム、逆ラボツアー、大隅半島地区 プラザ	9
12			八日会、川薩地区プラザ	2
31 年 1			新年大会、84プラザ、若手経営者プラザ、工 農連携研究会	4
2		総務・広報委員会	八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、 プラザいもづる、川薩地区プラザ、84プラザ、 地域資源活用プラザ、出水地区プラザ	8
3	正副会長 理事会		八日会、プラザいもづる、84プラザ、始良・ 霧島地区プラザ	6
各 種 会 合 回 数 72 回				

◇ 各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務・広報委員会	6 月	(1) 会報No. 62号を作成・発送	鹿児島県産業会館
	2 月	(1) 会報No. 63号を作成・発送	鹿児島県産業会館
事業委員会	4 月 6 日	(1) 明治150年記念「かごつまうまかもん発掘フェア」後援	城山ホテル 鹿児島
渉外委員会	1 1 月 2 2 日	逆ラボツアー 「大隅の食の加工を中心とする産業についての現地研修」(大隅半島地区プラザと合同開催) (1) (株)ナンチク、マトヤ技研工業(株)を視察 (2) 近況報告と意見交換 アカサカ	(株)ナンチク、マトヤ技研工業(株)
特命委員会	6 月 1 8 日	(1) 食と健康に関するシンポジウム 第1回 打合せ、検討	鹿児島大学
	7 月 1 7 日	(1) 食と健康に関するシンポジウム 第2回 打合せ 鹿児島県産品の輸出への取り組み	鹿児島大学
	9 月 1 0 日	(1) 食と健康に関するシンポジウム 第3回 打合せ 講演等や今後のスケジュール、作業等につき最終決定	鹿児島大学
	1 1 月 2 8 日	(1) 食と健康に関するシンポジウムー世界に広がる「かごしまの食」ー 開催。	鹿児島大学 稲盛会館

◇ 各 部 会 活 動 実 績

部会名	月 日	内 容	場 所
食産業 部会	4月16日	(1) 講演：「食品加工の未来 命あるものを元気に する！」(84プラザと合同) 講師：株式会社新生バイオ代表取締役社長 田村 和男 氏	ソフトプラ ザかごしま
	7月25日	(1) 講 演：「健康をサポートする鹿児島県産農産 物のチカラ」(84プラザと合同) 講 師：鹿児島大学農学部講師 加治屋 勝子 氏	県産業会館 7F
	9月18日	(1) 講演：外国人技能実習生の活用(貿易部会、84 プラザと合同) 講師：(株)清友代表取締役 宮之原明子 氏 マネージャー 坪内幸子 氏	ホテルタイ セイアネッ クス
貿易部会	9月18日	(1) 講演：外国人技能実習生の活用(食産業部会、 84プラザと合同) 講師：(株)清友代表取締役 宮之原明子 氏 マネージャー 坪内幸子 氏	ホテルタイ セイアネッ クス

◇ プ ラ ザ 活 動 実 績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
八日会	4月9日	(1) 近況報告、情報交換	鹿児島中央 駅西口寿庵
	6月6日	(1) 近況報告、情報交換	八幡
	7月9日	(1) 近況報告、情報交換	城山ホテル 鹿児島
	8月8日	(1) 近況報告、情報交換	創 作 料 理 「山本」
	9月7日	(1) 近況報告、情報交換	レクストン ホテル皇
	10月10日	(1) 近況報告、情報交換	レクストン ホテル皇
	11月8日	(1) 近況報告、情報交換	レクストン ホテル皇
	12月11日	(1) 近況報告、情報交換	洋食「ごわ んふる」
	2月7日	(1) 近況報告、情報交換	洋食「ごわ んふる」
	3月8日	(1) 近況報告、情報交換	レクストン ホテル皇
84 プラザ	4月16日	(1) 講演：食品加工の未来 命あるものを元気にする！ (食産業部会と合同) 講師：株式会社新生バイオ代表取締役社長 田村 和男 氏 (2)今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラ ザかごしま

	6月18日	(1) 講演:「ロボティクス研究最前線! (クラウド型位置同定インフラストラクチャシステムとIoTへの応用)」 講師: 鹿児島大学 学術研究院 理工学域 工学系 准教授 高橋淳二 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソフトプラザかごしま
	7月25日	(1) 講演:「健康をサポートする鹿児島県産農産物のチカラ」(食産業部会と合同) 講師: 鹿児島大学農学部講師 加治屋 勝子 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	県産業会館 7F
	8月20日	(1) 講演: 凍結解凍覚醒法で、糖度25度の神バナナ 講師: 農業法人神バナナ(株) 西園 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソーホーかごしま
	9月18日	(1) 講演: 外国人技能実習生の活用(貿易部会、食産業部会と合同) 講師: (株) 清友 代表取締役 宮之原明子 氏 マネージャー 坪内幸子 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ホテルタイセイアネックス
	10月15日	(1) 講演: 薩摩切子(SHOHO)の世界 ガラスを通して夢と文化を継承 講師: ガラス職人(薩摩切子) 長谷川頌峰 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	県産業会館 7F 会議室
	11月19日	(1) 講演: トウガラシ類の歴史と魅力 講師: 鹿児島大学農学部教授 坂上潤一 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソーホーかごしま
	1月24日	(1) 講演: 異文化理解とコミュニケーション 講師: 鹿児島大学法文教育学域法文学系 准教授 中島 祥子 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	鹿児島市中央公民館 3F 中会議室
	2月4日	(1) 講演: 南の島における水資源品質戦略的管理手法の社会実装と、産官学童団による河川自然再生を通じた島嶼社会の持続・自立的発展の礎づくりの試み 講師: 鹿児島大学南九州・南西諸島域共創機構産学・地域共創センター連携推進部門 特任准教授 古里 栄一 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	鹿児島市中央公民館地下1F B 会議室
プラザいもづる	3月11日	(1) 講演: 暮らしの中の旅、これからの旅の魅力 講師: (株)アイロード取締役 福永 栄子 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	マークメイザン
	4月20日	(1) 近況報告と意見交換	望郷酒場 彩
	5月18日	(1) 近況報告と意見交換	中崎邸
	6月22日	(1) 講演: 自分の人生に自己申告する「私の人生整理 整頓帳」の書き方・考え方 講師: 萩原 清秀 氏	味の八坂
	7月27日	(1) 近況報告と情報交換	展望レスト

			ラン「ラテラス」
	9月14日	(1) 近況報告と情報交換	居酒屋朝次郎
	10月19日	(1) 近況報告と意見交換	焼肉多聞
	11月16日	(1) 近況報告と意見交換	酒肴采屋伝一
	2月8日	(1) 近況報告と意見交換	居酒屋味市場
	3月8日	(1) 近況報告と意見交換	居酒屋絵空
地域資源活用プラザ	2月19日	(1) 地場企業への活力支援プロジェクトについて検討	南洲庵
若手経営者プラザ	7月27日	(1) 講演：台湾最新事情 講師：(株)ランドアート 黒田幾代 氏 (2) 近況報告と意見交換	貴宝丸
	10月26日	(1) 講演：痛みに向き合う-私のスピリチュアルペイン 講師：臨床宗教師 榊 了慈 氏 (2) 近況報告と意見交換	ベジカフェロー
	1月17日	(1) 講演：企業経営とパブリックマインド 講師：阿久根市議会議員、ホテルコンサルタント 白石純一 氏 (2) 近況報告と意見交換	ビストロメイクマ

◇ 地区プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
川薩地区プラザ	4月17日	(1) 講演：30年度の補助金、支援策等について 講師：かごしま産業支援センター 前田経営支援課長、よろず支援拠点担当者	川内ホテル
	6月14日	(1) 講演：鹿児島の水産業と技術課題への取組 講師：鹿児島大学水産学部准教授 安楽和彦 氏	川内ホテル
	8月29日	(1) 講演：私の人生 講師：建築家、京都造形芸術大学大学院教授 高崎正治 氏	川内ホテル
	10月23日	(1) 講演：鹿児島大学の新しい試み～産学・地域共創センターにおける社会実装への挑戦 講師：鹿児島大学准教授 中武貞文 氏	川内ホテル
	12月18日	(1) 近況報告、情報交換	川内ホテル
	2月20日	(1) 講演：プラスチックによる海のごみ問題～マイクロプラスチックから改善事例まで～ 講師：鹿児島大学特任教授 藤枝繁氏	川内ホテル
出水地区プラザ	2月22日	(1) 講演：微生物の限らない能力を学ぶ 講師：サンルート(株)社長 渡辺良則 氏 (2) 近況報告と意見交換	出水市野田町農業環境改善センター 牛豚島

始良・霧島 地区プラ ザ	7月18日	(1) 講演：伊佐小町の開発 しょちゅガールの挑戦 講師：大口酒造（株）緒方千織 氏	豚珍館
	3月8日	(1) 講演：ワインについて 講師：山之内シェフ	シンパティ コ
大隅半島 地区プラ ザ	8月21日	(1) 講演：九州ニュービジネス大賞優秀賞受賞の省力 化機械について 講師：マトヤ技研工業（株）代表取締役 益留 福一 氏	曾於市 レストラン赤 坂
	11月22日	逆ラボツアー「大隅の食の加工を中心とする産業への取 り組みについての現地研修」（渉外委員会と合同開催） (1) (株)ナンチク、マトヤ技研工業(株)を視察 (2) 近況報告と意見交換	曾於市 レストラン 赤坂

◇ 研 究 会 活 動 実 績

研究会名	月 日	内 容	場 所
工農連携 (オランダに学ぶ) 研究会	10月2日	(1) 内 容：①農業開発総合センターの概要 ②研究室、試験圃場等視察・野菜、花 き品種改良、生産性向上に関する試 験研究(施設園芸)・水稻、果樹品種 改良、生産性向上に関する試験研究 (屋外) ③ 意見交換(質疑応答、要望提案) (2) 近況報告と意見交換	県農業開発 総合センタ ー 黒豚百寛
	1月29日	(1) 内 容：講演①：オランダスマート農業の現状 と先進性 講師：(株)エルム代表取締役 宮原 隆和 氏 講演②：農商工連携事業について 講師：独立行政法人中小企業基盤整備 機構九州本部統括プロジェクト マネージャー 大澤 真介 氏 (2) 近況報告と意見交換	ソーホーか ごしま 味の八坂

(1-1) 貸借対照表

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,702,497	4,558,334	△ 855,837
未収金	19,343,256	16,827,805	2,515,451
流動資産合計	23,045,753	21,386,139	1,659,614
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,220,000	9,010,000	210,000
基本財産合計	9,220,000	9,010,000	210,000
(2) 特定資産			
周年事業積立金	1,200,000		1,200,000
特定資産合計	1,200,000	0	1,200,000
(3) その他固定資産			
什器備品	3	3	0
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,803	72,803	0
固定資産合計	10,492,803	9,082,803	1,410,000
資産合計	33,538,556	30,468,942	3,069,614
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	17,500,000	15,500,000	2,000,000
未払金	900,771	2,171,538	△ 1,270,767
預り金	565,529	542,355	23,174
未払消費税等	811,700		811,700
流動負債合計	19,778,000	18,213,893	1,564,107
2. 固定負債			
寄託金			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	19,778,000	18,213,893	1,564,107
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	()	()	
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	13,760,556	12,255,049	1,505,507
(うち基本財産への充当額)	(9,220,000)	(9,010,000)	(210,000)
(うち特定財産への充当額)	(1,200,000)	(0)	(1,200,000)
一般正味財産合計	13,760,556	12,255,049	1,505,507
正味財産合計	13,760,556	12,255,049	1,505,507
負債及び正味財産合計	33,538,556	30,468,942	3,069,614

(2-1) 正味財産増減計算書

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産利息収入	1,346	2,207	△ 861
② 受取入会金			
入会金	210,000	150,000	60,000
③ 受取会費	10,373,900	10,348,400	25,500
正会員	8,873,900	8,748,400	125,500
10,000円×38会員	380,000	290,000	90,000
30,000円×32会員	960,000	930,000	30,000
55,000円×14会員	770,000	825,000	△ 55,000
80,000円×35会員	2,800,000	2,720,000	80,000
105,000円×15会員	1,575,000	1,575,000	0
130,000円× 6会員	780,000	780,000	0
155,000円× 9会員	1,395,000	1,395,000	0
新規会員 × 9会員	213,900	233,400	△ 19,500
計158会員			
賛助会員会費	1,500,000	1,600,000	△ 100,000
100,000円×11会員	1,100,000	1,200,000	△ 100,000
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計13会員			
④ 受取補助金			
平成30年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0
⑤ 受取負担金	917,000	810,000	107,000
総会懇談会負担金	385,000	405,000	△ 20,000
新年大会懇談会負担金	532,000	405,000	127,000
⑥ 事業収入			
知財総合支援窓口運営業務	38,683,926	33,619,655	5,064,271
⑦ 雑収益	40,101	50,064	△ 9,963
経常収益計	50,426,273	45,180,326	5,245,947

(2-1) 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	23,408,219	38,614,010	△ 15,205,791
給料手当	9,338,837	21,625,850	△ 12,287,013
賃金	7,056	0	7,056
福利厚生費	1,484,817	3,071,617	△ 1,586,800
退職金	0	172,800	△ 172,800
退職金	0	0	0
表彰費	64,320	64,254	66
旅費交通費	2,090,505	2,662,364	△ 571,859
通信運搬費	351,717	547,419	△ 195,702
消耗品費	477,976	706,405	△ 228,429
印刷製本費	181,656	635,807	△ 454,151
会議費	289,100	295,312	△ 6,212
諸謝金	5,622,264	5,006,113	616,151
賃借料	1,791,956	1,719,282	72,674
広告料	10,000	679,168	△ 669,168
支払利息	265,215	222,170	43,045
租税公課	1,432,800	1,051,818	380,982
雑費	0	153,631	△ 153,631
② 管理費	25,512,547	5,143,724	20,368,823
給料手当	17,779,846	1,584,995	16,194,851
福利厚生費	2,801,968	525,478	2,276,490
退職金	288,000	115,200	172,800
退職金	0	0	0
旅費交通費	198,365	5,310	193,055
通信運搬費	266,810	112,105	154,705
消耗品費	341,505	144,661	196,844
印刷製本費	530,604	48,589	482,015
会議費	1,008,068	794,948	213,120
諸謝金	50,000	842,147	△ 792,147
賃借料	1,514,929	304,636	1,210,293
支払負担金	428,800	418,800	10,000
租税公課	84,100	215,432	△ 131,332
雑費	219,552	31,423	188,129
公益目的事業費振替額	0		
経常費用計	48,920,766	43,757,734	5,163,032
当期経常増減額	1,505,507	1,422,592	82,915
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,505,507	1,422,592	82,915
一般正味財産期首残高	12,255,049	10,832,457	1,422,592
一般正味財産期末残高	13,760,556	12,255,049	1,505,507
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,760,556	12,255,049	1,505,507

正味財産増減計算内訳書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
	知財	工業倶楽部	共通	計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益							
基本財産利息収入	0	1,062	0	1,062	0	284	1,346
② 受取入会金							
入会金	0	210,000	0	210,000	0	0	210,000
③ 受取会費	0	5,186,950	0	5,186,950	0	5,186,950	10,373,900
正会員	0	4,436,950	0	4,436,950	0	4,436,950	8,873,900
10,000円×38会員	0	190,000	0	190,000	0	190,000	380,000
30,000円×32会員	0	480,000	0	480,000	0	480,000	960,000
55,000円×14会員	0	385,000	0	385,000	0	385,000	770,000
80,000円×35会員	0	1,400,000	0	1,400,000	0	1,400,000	2,800,000
105,000円×15会員	0	787,500	0	787,500	0	787,500	1,575,000
130,000円× 6会員	0	390,000	0	390,000	0	390,000	780,000
155,000円× 9会員	0	697,500	0	697,500	0	697,500	1,395,000
新規会員 × 9会員	0	106,950	0	106,950	0	106,950	213,900
計158会員							
賛助会員会費	0	750,000	0	750,000	0	750,000	1,500,000
100,000円×11会員	0	550,000	0	550,000	0	550,000	1,100,000
200,000円×2会員	0	200,000	0	200,000	0	200,000	400,000
計13会員							
④ 受取補助金							
平成30年度指導団体助成金(鹿児島)	0	200,000	0	200,000	0	0	200,000
⑤ 受取負担金	0	0	0	0	0	917,000	917,000
総会懇談会負担金	0	0	0	0	0	385,000	385,000
新年大会懇談会負担金	0	0	0	0	0	532,000	532,000
⑥ 事業収入							
知財総合支援窓口運営業務	38,683,926	0	0	38,683,926	0	0	38,683,926
⑦ 雑収益	63	40,038	0	40,101	0	0	40,101
経常収益計	38,683,989	5,638,050	0	44,322,039	0	6,104,234	50,426,273

正味財産増減計算内訳書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業 等 会 計	法人会計	合 計
	知財	工業倶楽部	共通	計			
(2) 経常費用							
① 事業費	23,037,743	370,476	0	23,408,219	0	0	23,408,219
給料手当	9,338,837			9,338,837			9,338,837
賃金	0	7,056		7,056			7,056
福利厚生費	1,484,817			1,484,817			1,484,817
退職金掛金	0			0			0
退職金	0			0			0
表彰費	0	64,320		64,320			64,320
旅費交通費	2,090,505			2,090,505			2,090,505
通信運搬費	351,717			351,717			351,717
消耗品費	477,976			477,976			477,976
印刷製本費	181,656			181,656			181,656
会議費	0	289,100		289,100			289,100
諸謝金	5,622,264			5,622,264			5,622,264
賃借料	1,791,956			1,791,956			1,791,956
広告料	0	10,000		10,000			10,000
支払利息	265,215			265,215			265,215
租税公課	1,432,800			1,432,800			1,432,800
雑費	0			0			0
② 管理費	11,319,359	9,519,745	0	20,839,104	0	4,673,443	25,512,547
給料手当	9,838,040	5,999,551		15,837,591		1,942,255	17,779,846
福利厚生費	1,481,319	690,793		2,172,112		629,856	2,801,968
退職金掛金	0	172,800		172,800		115,200	288,000
退職金	0	0		0		0	0
旅費交通費	0	197,988		197,988		377	198,365
通信運搬費	0	221,468		221,468		45,342	266,810
消耗品費	0	279,530		279,530		61,975	341,505
印刷製本費	0	492,933		492,933		37,671	530,604
会議費	0	0		0		1,008,068	1,008,068
諸謝金	0	42,801		42,801		7,199	50,000
賃借料	0	1,171,056		1,171,056		343,873	1,514,929
支払負担金	0			0		428,800	428,800
租税公課	0	68,558		68,558		15,542	84,100
雑費	0	182,267		182,267		37,285	219,552
公益目的事業費振替額	4,326,887	-4,326,887		0			
経常費用計	38,683,989	5,563,334	0	44,247,323	0	4,673,443	48,920,766
当期経常増減額	0	74,716	0	74,716	0	1,430,791	1,505,507
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
保険積立金取崩収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
過年度減価償却費							
他会計振替							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	74,716	0	74,716	0	1,430,791	1,505,507
一般正味財産期首残高	0	5,823,088		5,823,088		6,431,961	12,255,049
一般正味財産期末残高	0	5,897,804	0	5,897,804	0	7,862,752	13,760,556
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	5,897,804	0	5,897,804	0	7,862,752	13,760,556

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当事項なし

2. 重要な会計方針
(1) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却は、定額法を採用している。
(2) リース取引の処理方法
通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
(3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更
該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	9,010,000	210,000	0	9,220,000
小計	9,010,000	210,000	0	9,220,000
特定資産 周年事業積立金	0	1,200,000	0	1,200,000
小計	0	1,200,000	0	1,200,000
合計	9,010,000	1,410,000	0	10,420,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	9,220,000	()	(9,220,000)	—
小計	9,220,000	()	(9,220,000)	—
特定資産 周年事業積立金	1,200,000	—	(1,200,000)	—
小計	1,200,000	()	(1,200,000)	—
合計	10,420,000	()	(10,420,000)	—

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
パソコン	165,270	165,269	1	
パソコン	176,145	176,144	1	
合計	477,390	477,387	3	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 平成30年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
合計		0	200,000	200,000	0	—

(4)

財産目録
平成31年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
現金預金	手許現金	鹿児島銀行 支店No. 1350394	運転資金	0
		鹿児島銀行 支店No. 3087965	運転資金	1,395,337
		鹿児島銀行 支店No. 3087965	運転資金	2,300,446
		南日本銀行 支店No. 484160	運転資金	6,714
			小計	3,702,497
未収金		H30年度労働保険精算分		1,293
		委託事業清算金		19,341,963
		小計		19,343,256
流動資産合計				23,045,753
基本財産	定期預金	鹿児島銀行 支店No. 4120200	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的82.2% ・管理目的17.8%	3,220,000
		南日本銀行 支店No. 343960		3,000,000
		鹿児島相互信用金庫 支店No. 1600932		3,000,000
		小計		9,220,000
特定資産	普通預金	鹿児島銀行 支店No. 1350394	周年事業積立金	1,200,000
その他固定資産	什器備品	プロジェクター 1 台	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的82.2% ・管理目的17.8%	1
		デスクトップパソコン2台		2
	電話加入権	099-225-8012 他 4 回線		72,800
固定資産合計				10,492,803
資産の部 合計				33,538,556
短期借入金	鹿児島銀行	運転資金借入		17,500,000
未払金	2月分社会保険料 健康保険・厚生年金・児童手当拠出金			251,993
	3月分社会保険料 健康保険・厚生年金・児童手当拠出金			253,278
	給与 3月分超過勤務手当			18,801
	通信料 インターネット、電話回線使用料等			45,114
	消耗品費 (株)久永			34,770
	賃借料 ホテル・レクストン鹿児島 理事会			20,000
	会議費 ホテル・レクストン鹿児島 理事会			11,600
	支払利息 鹿児島銀行 借入金利息			265,215
小計			900,771	
預り金	預り金	2月分社会保険料	職員分預り	247,123
		3月分社会保険料	職員分預り	248,406
		理事会懇親会費	ホテルレクストン鹿児島	70,000
		小計		565,529
未払消費税等	鹿児島税務署	H30年度消費税及び地方消費税		811,700
他会計振替				0
他会計振替				
流動負債合計				19,778,000
退職給付引当金				0
固定負債合計				0
負債の部 合計				19,778,000
正味財産額				13,760,556
負債及び正味財産合計				33,538,556

監 査 報 告 書

平成31年4月19日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部

会長 岩 元 正 孝 殿

監事 餅田 淳一



監事 谷口 克也



私たち監事は、当倶楽部の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、当倶楽部の事務所において業務及び財産の状況について調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書、財産目録を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

報告事項 令和元年度事業計画及び収支予算について

1 基本方針

- (1) 景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられ、企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。

雇用情勢は、着実に改善しており、消費者物価は、横ばいとなっているが、先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

これまで当倶楽部は、会員企業による異業種交流を深めるとともに、産学官連携を多様化しながら、技術の高度化、新技術・新製品の開発による新規事業分野への進出等を促進し、県内工業の健全な発展に寄与する活動を展開してきたところである。

そして平成31年度も、これまでの異業種交流に加え、知的財産権について中小企業等が企業経営の中で抱える悩みや課題を一元的に受け付け、知財専門家や県内中小企業支援機関と協働して解決に導く、国の「知財総合支援窓口運営業務」に取り組むこととする。

これらの取り組みにより、会員企業の事業活動の拡充を支援し、会員相互の一層の交流促進を図るとともに、公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含めて、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内工業の発展や地域の振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開していく。

2 主要事業

(活性化事業)

- | | |
|--|------------|
| ① まち・ひと・しごと創生事業に対する提言等 | 【特命委員会】 |
| ② 公益社団法人化に伴うイメージアップのための
提案及び知財を活用した産業活性化の推進 | 【特命委員会】 |
| ③ 工業倶楽部活性化のための提案 | 〃 |
| ④ 新規会員の加入促進 | 【総務・広報委員会】 |

(異業種交流事業)

- ① 時代を先取りするものづくり異業種交流事業の実施 **【事業委員会】**
- ・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等を促進するため異業種企業の連携による取り組みで経営基盤の確立を促進する。
 - ・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等の分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発への取り組みを促進する。
 - ・異業種交流事業を通しての新規会員の獲得 **【総務・広報委員会】**
- ② 県外の工業団体等との交流促進 **【渉外委員会】**
- ・九州内の工業団体等の交流による情報、意見の交換等の促進を図る
 - ・県外産業界等との交流による会員の事業充実、資質向上を促進する
 - ・鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター、二水会との交流
- ③ 明日を拓く理系人材育成事業 **【特命委員会】**
- ・将来鹿児島の産業界を切り拓いていく人材を育成
- ④ 新しい時代に対応した工業倶楽部のプラットフォーム化の研究 **【事業委員会】**
- ⑤ 農業と連携した産業振興の研究 //
- ⑥ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進 //

(産・学・官連携事業)

- ① 鹿大等との交流連携の推進
- ・企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる具体的結果の出る取り組みの推進 **【渉外委員会】**
 - ・「食と健康に関するシンポジウム」の開催 **【特命委員会】**
- ② 若者就職活動に関するサポート活動の強化 **【特命委員会】**
- ・各種インターンシップの援助等
- ③ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応 **【渉外委員会】**

(広報・デザイン開発事業)

- ① 工業倶楽部の知名度アップ **【総務・広報委員会】**
- ・当倶楽部のイメージアップを図るため、県、県議会、マスコミ等との交流の推進
 - ・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、ホームページの利活用による当倶楽部の知名度アップ促進

3 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当年度における借り入れ予定

① 知財総合支援窓口設置に係る短期借入（借入限度額：3900 万円）

・ 6 月～11 月 各 300 万円

（6 月～11 月 合計 1800 万円）

・ 概算払い制度を活用し、借入額の縮減に努める。

(2) 設備投資の見込みについて

なし

※一般法人法（抜粋）

第 5 款 理事会（理事会の権限等）

第 90 条 理事会は、すべての理事で組織する。

2～3（略）

4 理事会は、次に掲げる事項その他重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。

一 重要な財産の処分及び譲受け

二 多額の借財

三～六（略）

一般会計事業計画

事業名	事業内容	事業費(円)
1 総務企画事業		1,925,000
(1) 理事会及び正副会長会	総会の議決した事項その他組織・運営・事業等、業務の執行に関することを決定する。	45,000
(2) 委員会(4委員会)	理事会で決定した業務等を所管の委員会が推進する。	20,000
(3) 部会及びプラザの代表者会議	部会及びプラザの活動を推進するための、事業・予算及び活動計画等の確認	10,000
(4) 通常総会	平成30年度通常総会の開催	920,000
(5) 異業種交流大会の開催(新年大会)	会員の資質向上を図るとともに、会員間の交流を深めることにより、新規事業分野 への進出等を促進する。	890,000
(6) 異業種交流大会の開催(秋季大会)		0
(7) 新規会員の加入促進運動	魅力ある工業倶楽部を実現するため、委員会・部会・研究会・プラザ等の充実を通して組織強化を図る。会員増強に力を入れ、各会員が 1名の会員加入をするよう積極的に行動を起こす運動を展開する。	20,000
(8) 国際交流への負担金	県日中友好協会、鹿児島日韓親善協会等への参加協力ほか	20,000
2 異業種交流事業		590,000
(1) 部会活動推進事業	情報ネットワーク部会、食産業部会、貿易部会等の活動を推進する。	40,000
(2) プラザ活動推進事業	八日会、84プラザ、さつまプラザ、プラザいもづる、プラザさくらじま、地域資源活用プラザ、若手経営者プラザでの交流、活動を推進する。	100,000
(3) 研究会活動推進事業	工農連携(オランダに学ぶ)研究会など特定テーマ、課題解決のための研究会の活動推進	40,000
(4) 地区プラザの充実及び円滑な運営の推進	各地区プラザの充実を促進し、地域産業の発展に貢献する。	85,000
(5) 出前交流事業	当工業倶楽部役員を中心に地域を訪問し、地域の会員企業・団体との交流を通じて、地区プラザ等の活性化、会員の確保、地域の振興に資する。	40,000
(6) 県外工業団体等との交流	県外の企業や産業界等との交流を推進する。	85,000
(7) 明日を拓く理系人材育成事業	将来鹿児島県の産業界を切り拓いていく人材を育成。	200,000

3 産・学・官連携事業		520,000
(1) 鹿大等との連携	「学」との交流、連携の推進	310,000
	①鹿大との交流・連携の推進	60,000
	②地域貢献に黙する活動(シンポジウム)	140,000
	③鹿児島大学工業倶楽部賞の授与	100,000
	④高専、研究、教育機関等との交流の推進	10,000
(2) 県・公設試・各種団体等との連携	「官」との交流、連携の推進	200,000
	①鹿児島県(産業立地課、工技センター、産業支援センター)との連携	180,000
	②その他関連する団体等との交流	20,000
(3) インターンシップ、講師派遣等の推進	学生のインターンシップ、県教委キャリア教育推進事業等への協力	10,000
4 広報・デザイン開発活動事業		363,000
(1) 情報の収集及び会報・KICニュースの発行	異業種交流、産学官連携及び講演会、セミナー等の情報の提供、会員の情報発信 配付先: 会員、県及び関係機関、その他関係団体等	240,000
(2) 工業倶楽部案内	ホームページ充実等による工業倶楽部及び会員の紹介、新商品や事業展開情報等の発信	13,000
(3) マスコミ等への広報	マスコミ、県議会等との意見交換を通じた工業倶楽部のイメージアップ及び会員の資質向上	10,000
(4) デザイン開発力強化等の推進	地域産業におけるデザインマインドの高揚とデザイン開発力の強化を図るための協力等の実施	100,000

正味財産増減計算内訳書

平成 31 年 4 月 1 日 から 令和 2 年 3 月 31 日 まで

科 目	公益目的 事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	1,364		0	1,364	
② 受取入会金					
入会金	90,000		0	90,000	
③ 受取会費	5,205,000	0	5,205,000	10,410,000	
正会員	4,455,000	0	4,455,000	8,910,000	
10,000円×37会員	185,000	0	185,000	370,000	
30,000円×38会員	570,000	0	570,000	1,140,000	
55,000円×14会員	385,000	0	385,000	770,000	
80,000円×36会員	1,440,000	0	1,440,000	2,880,000	
105,000円×15会員	787,500	0	787,500	1,575,000	
130,000円× 6会員	390,000	0	390,000	780,000	
155,000円× 9会員 計 155会員	697,500	0	697,500	1,395,000	
	0	0		0	
賛助会員会費	750,000	0	750,000	1,500,000	
100,000円×12会員	550,000	0	550,000	1,100,000	
200,000円×2会員 計 14会員	200,000	0	200,000	400,000	
④ 受取補助金					
平成31年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000	
⑤ 受取負担金		0	1,260,000	1,260,000	
総会懇談会負担金		0	630,000	630,000	
新年大会懇談会負担金		0	630,000	630,000	
⑥ 事業収入	39,491,591	0	0	39,491,591	
⑦ 雑収益	50,000	0	0	50,000	
⑧ 他会計繰入金収入	2,920,864			2,920,864	
経常収益計	47,958,819	0	6,465,000	54,423,819	

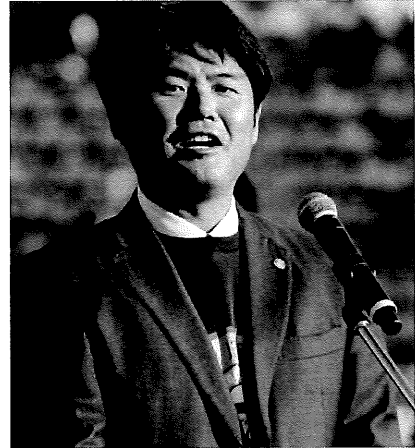
科 目	公益目的 事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計	備 考
(2)経常費用				0	
①事業費	46,207,599	0	0	46,207,599	
給 料 手 当	26,415,849	0	0	26,415,849	
賃 金	7,840	0	0	7,840	
福利厚生費	3,903,947	0	0	3,903,947	
退職金掛金	172,800	0	0	172,800	
退 職 金	0	0	0		
表 彰 費	100,000	0	0	100,000	
旅費交通費	3,032,323	0	0	3,032,323	
通信運搬費	396,468	0	0	396,468	
消 耗 品 費	1,019,106	0	0	1,019,106	
印刷製本費	660,928	0	0	660,928	
会 議 費	296,491	0	0	296,491	
諸 謝 金	5,122,646	0	0	5,122,646	
賃 借 料	3,107,556	0	0	3,107,556	
広 告 料	10,000	0	0	10,000	
支 払 利 息	280,000	0	0	280,000	
租 税 公 課	1,531,158	0	0	1,531,158	
雑 費	150,487	0	0	150,487	
②管理費	0	0	6,816,879	6,816,879	
給 料 手 当	0	0	2,258,425	2,258,425	
福利厚生費	0	0	661,515	661,515	
退職金掛金	0	0	115,200	115,200	
退 職 金	0	1	0	0	
旅費交通費	0	0	5,375	5,375	
通信運搬費	0	0	81,205	81,205	
消 耗 品 費	0	0	208,733	208,733	
印刷製本費	0	0	50,512	50,512	
会 議 費	0	0	1,260,000	1,260,000	
諸 謝 金	0	0	861,754	861,754	
賃 借 料	0	0	384,537	384,537	
支払負担金	0	0	628,800	628,800	
租 税 公 課	0	0	20,000	20,000	
雑 費	0	0	280,823	280,823	
③他会計繰入支出(一般管理費)	2,920,864	0	0	2,920,864	
経常費用計	49,128,463	0	6,816,879	55,945,342	
当期経常増減額	△ 1,169,644	0	△ 351,879	△ 1,521,523	
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,169,644	0	△ 351,879	△ 1,521,523	
一般正味財産期首残高	13,760,556	0	0	13,760,556	
一般正味財産期末残高	12,590,912	0	△ 351,879	12,239,033	
正味財産期末残高	12,590,912	0	△ 351,879	12,239,033	

◇ 講演会

演 題：「プロスポーツと地域活性化」

講師①：鹿児島ユナイテッド FC

代表取締役 徳重 剛 氏



(チーム紹介)

2014 年に発足し全国リーグ JFL に参戦。

2015 年 JFL4 位の成績で、J リーグ入会を決める。2016 年より J3 リーグに参戦し、2018 年に同リーグ 2 位となり、J2 リーグ昇格。現在、強豪クラブがひしめく J2 リーグに挑戦中。「鹿児島をもっとひとつに。」をスローガンに試合以外でも鹿児島を元気にするための活動に積極的に取り組んでいる。

講師②：鹿児島レブナイズ

代表取締役社長 小牧 正英 氏



(チーム紹介)

鹿児島のプロバスケットボールクラブ
「鹿児島レブナイズ」

2008 年にレノヴァ鹿児島として JBL2 に参戦。2016 年新リーグ「B リーグ」発足に伴い、チーム名を「鹿児島レブナイズ」に変更し、B2 西地区に参戦。現在は B3 リーグに所属。

チーム名の由来は、旧チーム名のレノヴァの頭文字の“RE”と、鹿児島弁で「無骨な若者」・「飾らない強い男」などを意味する“不二才(ぶにせ)”を合体させた造語(“RE” + “BNISE”)。